



ほけんだより

令和7年10月1日

インターナショナル

不動前えほん保育園

昼間は汗ばむ日もありますが、朝夕は少しずつ冷え込むようになってきました。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でもあるので、引き続き手洗いうがいを家族で意識して行い、衣服の調節などをして病気を予防していきましょう。

インフルエンザ対策

かぜよりも症状が重く、感染力も強いインフルエンザ。0,1,2歳児がかかると、肺炎やインフルエンザ脳症を引き起こすことも。家族からうつることも多いので、みんなで予防を心がけましょう。

—予防のために—

1. 予防接種を受けるようにする

9月～予約受付が開始している病院が多いです。予約状況を確認して計画的に実施しましょう。また、予防接種をした際は園までお知らせください。

2. 外から帰ったら、必ずうがいと手洗いをする

3. 栄養のある食事と、水分をしっかりとる

4. 室内の湿度、温度に気をつけ、こまめに換気する

5. 室温は20℃前後、湿度60%くらいを保つ

6. 人込みを避ける



感染性胃腸炎

寒くなるにつれて感染性胃腸炎が流行る季節となります。感染性胃腸炎は、ノロウイルスやロタウイルスが原因の胃腸炎で、数時間前まで元気だったのに、突然顔色が変わり嘔吐が始まるケースが多く見られます。症状が出てから数時間が一番重く、水分を与えても吐いてしまします。吐き気が治まるまで様子を見て、顔色が戻ってきたら経口補水液などを少量ずつ与えましょう。乳児の場合、母乳はそのままあげても構いません。下痢の症状は、数日前から出る場合もあれば、嘔吐が始まってから出る場合もあります。嘔吐物や便から感染するケースが多いので、早めの処理と消毒が、集団感染の予防につながります。

—保育園からのお願い—

保育園でお子様が嘔吐・下痢をしてしまって衣類についてしまった場合、感染予防の面から、衣類についたままの返却を行っておりません。ご家庭での処理・洗濯をお願いいたします。なお、外パケツに袋に入れて保管しておりますので、不明な点は職員までお尋ねください。また、嘔吐物が別のお子様の衣類についてしまった際は、嘔吐されたお子様のご家庭での処理・洗濯をお願いしております。何卒、ご了承ください。



10/15 は世界手洗いの日

汚れやばい菌(病気の原因となるウイルスや細菌)は、手のあちこちにつきまします。手の中で溝やくぼみのあるところ、物によく触れる場所をしっかりと洗うことが大切です。手洗いで洗わなくてはいけないのは、次の6カ所です：手のひら、爪、親指の付け根、手の甲、指と指の間、手首。洗わなくてはならないすべての部位を正しくしっかりと洗うには、約20秒かかると言われています。



～インフルエンザ予防接種について～

インフルエンザの予防接種は10月中旬頃より各医療機関にて開始されます。

感染を100%防ぐことはできませんが、罹患時に軽症で済むと言われています。接種を受けてから抗体ができるまでには、約2週間かかります。

インフルエンザは、毎年12月下旬から増えてきます。10-12月中旬までに予防接種を済ましておけば安心かと思えます。

※お願い

予防接種の副反応を考慮して、できるだけ降園後に接種し自宅で様子を見て頂くようご協力をお願いいたします。

また、予防接種をされましたら、コドモンで可能ですのでお知らせお願い致します。